

社協西部支所ぷちホッと通信

赤い羽根共同募金では各方面でご協力いただき、ありがとうございます。

氷上地域の小中学校でも、児童生徒の皆さんが募金活動に取り組んでいただき、集めていただいた募金をお預かりしました。

赤い羽根共同募金は、自分のまちをよくする募金で今年ご協力いただいた募金の9割が次年度の丹波市の地域福祉活動に活用され、残りの1割は県内の障がい者施設や児童施設、災害支援などに活用されます。

みなさま、ご協力ありがとうございました。



氷上中学校のみなさん



東小学校のみなさん



11月28日、氷上住民センターで「ひかみボランティアのつどい」が開催されました。丹波市ボランティア協会氷上支部所属の5グループが活動発表され、日ごろのボランティア実践についてお互いに学習されました。

また、ゲストの春日マジッククラブさんのマジックで楽しまれ、全員でバルーンアートを体験されました。同協会は会員の減少と高齢化が課題とされていますが、ボランティアの灯を絶やさぬよう、皆さんで思いを新たにされていました。



活動発表の様子



バルーンアート体験

「ボランティアをしてみたい！」「ボランティアに来てほしい！」という方はお気軽にご連絡ください。

取組み発信！実践発表会

11月28日に『生郷地区支えあい推進会議』で自治会の支えあい活動についての実践発表会を実施されました。

3つの自治会より、健康マージャン教室やひとり暮らし高齢者などへの相談窓口のお知らせリーフレットの配布、いきいき百歳体操などの取組について発表がありました。

その後、各グループに分かれて発表された自治会の取り組みを参考に、「自治会と各委員が相談し合える関係づくりについて」、「ふれあいサロンにもっと多くの方が参加してもらうにはどうしたら良いか」、「担い手不足についてどう対応していくのがいいか」など様々なテーマで話し合われていました。

このような機会が自治会と各委員の連携につながり、見守りやつどいの場づくりへとつながり、安心して暮らせる生郷地区になっていくと良いですね。



自分にできること、みんなでできること

11月29日に、中央地区の上町自治会で『出張ふくし教室』を実施しました。

テーマは、「介護保険制度について」と「ひとり暮らし高齢者などの見守り」について。

見守りについてでは、付箋に自分が普段の生活の中で意識できることは何か、また自治会としてどんなことができるかを書いてもらい発表していただきました。

自分にできることでは、あいさつをすることで会話につながるなど自分なりにできることをやってみる。自治会としては、食事会の復活で交流機会を持つことや子どもの登下校の見守りを通して互いの見守り合いができないかなど様々な意見が出ました。

このように皆さんで話し合うことで現状の把握や今後の取組のアイデアなどが見つかるかもしれません。

社協では、ご依頼のテーマに合わせて講座やワークショップなど『出張ふくし教室』として実施しています。

お気軽にご相談ください！

